



TIBERIO

Tiberio
ティベリオ

ティベリオはペスカーラから内陸の山岳部に30km、クリスティアーナとアントニオの姉弟が運営するワイナリーです。樹齢60年を超えるトレッピーアーノやモンテプルチアーノの畑を彼らの父が購入し、そこからセクション・マサルで畑を植えていき、合計30haの畑を所有しています。醸造を担当するクリスティアーナは明確な方向性をもってワインを造っており、特徴的であるのは、プレスを全く行わずフリーランジュースのみで醸造し、生産ワインの大部分をステンレスタックのみで行うことです。

化学を専攻し、話し方からも強い意志と澄んだ知性の持ち主であることを感じさせるクリスティアーナですが、「ブドウやテロワールができないことを無理強いしない醸造を心がけている」そして「ステンレスタックによる醸造はブドウがそれを望んでいるからだ」と話します。洗練された味わいは、丁寧な畑の手入れの賜物ではありますが、2人は常に現代的な、あるいは既存の視点とは別の視点を持つことを心がけています。ティベリオ姉弟の目標はただひとつ、品種と産地を明確に語るワインを造ることです。

	OTrebbiano d'Abruzzo トレッピーアーノ・ダブルツツォ			備考	造り手のクリスティアーナは、彼女らの栽培する品種のクローンが、トレッピーアーノ・"アブルツェーゼ"であることの重要性を繰り返す。アブルツツォ州に植わる多くのトレッピーアーノ・アブルツェーゼと混同された品種にはない、品格と繊細さ、複雑味をあわせもつ。
	畑	品種：トレッピーアーノ100% 植樹：1960年代 位置：標高380m 土壌：粘土石灰土壌、砂岩の下層土	醸造		
	OFonte Canale - Trebbiano d'Abruzzo フォンテ・カナレ トレッピーアーノ・ダブルツツォ			備考	ワイナリーで一番古い樹齢のトレッピーアーノの選抜。ワイナリー開設当初から、トップキュヴェとして生産されている。
	畑	品種：トレッピーアーノ100% 植樹：1940年代 位置：標高350m 土壌：粘土石灰土壌、砂岩の下層土	醸造		
	OPecorino ペコリーノ			備考	ペコリーノは早熟なので、海辺では成熟が早すぎ、山に近い涼しい環境を好むと、造り手のクリスティアーナは考える。トレッピーアーノよりも骨格がある。
	畑	品種：ペコリーノ100% 植樹：2000年代 位置：標高350m 土壌：粘土石灰土壌、砂岩の下層土	醸造		
	Cerasuolo d'Abruzzo チェラスオーロ・ダブルツツォ			備考	軽やかな果実味と生き生きとした酸味が特徴のチェラスオーロ。抽出は色づく程度だが、わずかなグリップを舌に感じる。
	畑	品種：モンテプルチアーノ100% 植樹：1960年代 位置：標高350m、南向き 土壌：粘土石灰土壌、砂岩の下層土	醸造		
	Montepulciano d'Abruzzo モンテプルチアーノ・ダブルツツォ			備考	ティベリオの華やかで軽快なスタイルの白とチェラスオーロとは打って違って、バランスが取れ落ち着いた雰囲気のもんテプルチアーノ。抽出はしっかりと感じるが、タンニンのざらつきは感じず、ゆっくりと味わいが出てくる。
	畑	品種：モンテプルチアーノ100% 植樹：1960年代 位置：標高350m 土壌：粘土石灰土壌、砂質の下層土	醸造		

	<p align="center">●Archivio - Montepulciano d'Abruzzo アルキヴィオ モンテプルチアーノ・ダブルッツォ</p>			備考	<p>ベルゴラ仕立てで、彼らのセレクション・マサル元となる樹齢の高いモンテプルチアーノ。彼らにとってはワイナリーの「クローン・アーカイブ」であることから、この名前をつけた。</p>
	畑	<p>品種：モンテプルチアーノ100% 植樹：1950年 位置：320m 土壌：粘土石灰質</p>	醸造		
	<p align="center">●Colle Vota - Montepulciano d'Abruzzo コッレ・ヴォータ モンテプルチアーノ・ダブルッツォ</p>			備考	<p>キュヴェ・アルキヴィオを産する古い区画の畑からのセレクション・マサルで植樹した区画のうち、若い樹齢に関係なく際立って特別な赤ワインのできる畑の選抜。グイヨー仕立て。</p>
	畑	<p>品種：モンテプルチアーノ100% 植樹：2000年 位置：標高380m 土壌：粘土石灰質、小石が多い</p>	醸造		